

科目名 Subject	思考法と課題解決法 Thinking & Problem Solving Methods			教員名	鳥羽瀬 健	
開講年次	1	開講時期	前期	単位	1単位	
必修／選択	必修	授業形態	演習	時間	30時間	
実践的教育	○					
主な学習効果	知識・技能	主体的行動力	課題解決能力	多様な価値観や考え方を理解し、受け入れる能力	日本の伝統と文化を理解し、美意識を備えて行動できる能力	美しく生きる力を実践できる能力
		○	◎	◎		
科目の概要	成長期の日本においては、誰が何を考え何をすべきか。いつもで社会が見本を用意してくれていました。これからは先の見えない時代。答えは誰も用意してくれないので自分で考えるしかありません。この授業では、そのような先が見えない世の中を主体的に生きていくためのチカラを「ロジカルシンキング」という手法を通じて身に着けます。 このチカラが身につくと、身の回りに起こるありとあらゆる出来事や問題について、あなたがどのように受け止め、どのように考え、何をするのか。自分が納得できる答えを出し、周囲の人や社会に対しても誤解なく正確にその内容を伝えることができるようになります。 進め方について。前半は講義です。ロジカルシンキングについての基本的なやり方を、身近なケースを用いて解説していきます。後半は実践。「考え方」を身に着けるためには知識を得ただけでは不十分。実践あるのみです。身の回りの課題を発見し、最高の解決方法を作り出し、提案するプロジェクトをグループワーク形式で行います。最終回は各グループによるプレゼンテーションを行います。					
授業方法	オンライン授業（ZOOM）。 前半は講義。後半はグループワーク中心となります。 感染状況により対面授業がオンライン授業へと変更となる場合があります。					
授業の目標	多様な価値観や考え方を理解し、誰もが納得できる論理を組み立てることができる。 自分の主張を正確に人に伝えることができる。 仮説を立てて物事を考えることができる。 自分の人生について、納得いくまで考えることができる。					
時間外学習 （予習・復習）	思考法は授業における「技術」や「知識」のインプットだけでは使えるようになりません。日常の中で繰り返し使うことで初めてその能力を自分のモノにすることができます。 そのため、本授業では授業で学んだ内容を生活の中で実践し、毎回簡単な小レポートとして提出していただきます。後半のグループワークでは、授業時間だけではまとまらないため、時間外での検討が必要となります。					
教科書・教材	教科書		教員作成資料			
	教材		なし			
	使用設備・備品		なし			
	参考文献		なし			
評価方法	①最終プレゼンテーション（50%） 授業の最終回で発表していただくプレゼンテーションの内容で評価します。 ②期末レポート（50%） 期末レポートの内容で評価します。評価の視点は①、②どちらも「論理性」です。 <b>なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。</b>					
学生へのフィードバックの方法	ミニ課題については次回授業時に総括コメントを返します。					
履修上の注意	グループワークは様々な考え方が拮抗することでアウトプットの品質が上がります。グループ全員、議論への積極的な参加をお願いします。					
本科目履修と関連する資格	資格名	なし				

授業計画			
	授業内容	到達目標	時間外学習・備考
第1回	オリエンテーション 授業の狙いとゴールを共有 ロジカルシンキングとは。 ビジネスとの関連性を学ぶ。	ロジカルシンキングを学ぶ意義について理解し、説明することができる。本授業の到達点を把握し、準備できる。	【予習】論理的とは何かについて考えてくる。30分 【復習】身近な出来事について試しにロジカルに考えてみる。30分
第2回	タテの論理 帰納法と演繹法について学ぶ。	帰納法と演繹法を理解し、説明することができる。演繹法と帰納法を使って、ロジックを組み上げることができる。	【復習】帰納法と演繹法を用いて身近なテーマを考え、レポートにまとめる。60分
第3回	ヨコの論理 MECEという概念について学ぶ。	MECEという概念を理解し、説明することができる。あらゆるものについて、MECEで分類することができる。	【復習】MECEという概念を用いて、身近なテーマについて分類し、レポートにまとめる。60分。
第4回	ヨコの論理2 ビジネスにおけるMECE、フレームワークについて学ぶ。	ビジネスにおけるフレームワークを理解し、説明することができる。	【復習】身近なビジネスについて、学んだフレームワークを用いて分析してみる。60分。
第5回	ロジックツリー1 要素分解ツリーを学ぶ。	ロジックツリーの種類について理解し、説明することができる。ロジックツリーを用いてあらゆるものを要素分解することができる。	【復習】身近なテーマについて、ロジックツリーを用いて要素分解し、レポートにまとめる。60分。
第6回	ロジックツリー2 原因追及ツリーを学ぶ。	原因追及ツリーについて理解し、説明することができる。ロジックツリーを用い、問題の原因を網羅的に検討することができる。	【復習】身近なテーマについて、ロジックツリーを用いて原因分析し、レポートにまとめる。60分。
第7回	ロジックツリー3 問題解決ツリーを学ぶ	問題解決ツリーについて理解し、説明することができる。ロジックツリーを用いて問題解決の手段を網羅的に検討することができる。	【復習】身近なテーマについて、ロジックツリーを用いて問題解決策を洗い出し、レポートにまとめる。60分。
第8回	ピラミッドストラクチャー ロジカルに伝える ロジカルシンキングが伝えるためのツールであることを学ぶ。	ロジックツリーを用いて論理的なプレゼンテーションができる。	【復習】以前考えてきたロジックツリーについて、プレゼンテーションの構成を考え、レポートにまとめる。60分。
第9回	仮説思考 仮説思考についての理解とその使い方について学ぶ。	仮説思考の効果について理解し、説明することができる。 フェルミ推定の問題に回答できる。	【復習】与えられたフェルミ推定の問題について検討し、レポートにまとめる。60分。
第10回	【実践編】問題を把握する。	プロジェクトのやり方について理解し、説明することができる。身の回りに起こっている問題を発見することができる。	【復習】プロジェクトで検討するテーマ（問題）についてグループでさらに議論を深める。60分。
第11回	【実践編】原因分析 原因分析の実践方法を学ぶ。	身の回りの問題に対し原因を掘り下げ、根本的な課題を発見し説明することができる。	【復習】問題の原因分析についてグループでさらに議論を深める。60分。
第12回	【実践編】解決策立案 解決策立案の実践方法を学ぶ。	自ら抽出した課題について、解決策を洗い出すとともに説明することができる。	【復習】解決策についてグループでさらに議論を深める。60分。
第13回	【実践編】施策の評価 施策を評価し、優先順位の高いものを抽出する方法を学ぶ。	様々な施策について複数の視点から評価を行い、優先順位をつけることができる。	【復習】施策の評価と優先順位についてグループでさらに議論を深める。60分。
第14回	【実践編】プレゼンテーション準備 プレゼンテーションの様式について学ぶ。	ロジックツリーを元に、プレゼンテーションの構成を起すことができる。	【復習】プレゼンテーションについてグループでさらに議論を深める。60分。
第15回	【実践編】プレゼンテーション ロジックツリーに基づいた論理的なプレゼンテーションの実践を行う。	ロジカルな誰にでも正確に意図が伝わるプレゼンテーションができる。	【予習】プレゼンテーションの構成と内容を検討する。60分。